

5

Annual Report 2016

卷末資料

院内行事

新規医療機器紹介

患者会・家族会活動実績

資格取得奨励支援制度

提案制度

学会発表実績

院内行事

	行事
4月	入社式
6月	法人内認定看護師 認定式
7月	病院こども探検隊
9月	大規模災害訓練
	合同慰霊祭
10月	手洗い選手権
	エマルゴトレーニング
11月	クリーンウォーキング
	クリスマスコンサート
12月	白十字会大忘年会
	年頭挨拶
1月	院内成人式
	地震避難訓練
3月	院内看護研究学会

病院こども探検隊

2016年7月29日(金)、医療現場を実際に体験できる「病院こども探検隊」を開催し、小学5年生、6年生30名が参加しました。

初めに、感染認定看護師による感染や手洗いに関する講演を聞いた後、実際に手洗いをしました。手術室では、電気メスを使用して鶏肉を切ったり、内視鏡手術のトレーニングキットを実際に操作したりとさまざまな体験をしました。

最後には、病院長より修了書の授与、そして、医療の仕事に興味を持ってもらおうとの思いで作成した職種紹介の動画を観てもらいました。



入社式

4月1日(金)、2016年度 社会医療法人財団白十字会の入社式が行われました。佐世保地区では、63名が白十字会の一員となりました。



クリーンウォーキング

2016年11月12日(土)、街を清掃しながら健康的にさわやかな汗を流す、クリーンウォーキング2016が開催されました。秋空広がる好天に恵まれ90名の職員とその家族が参加しました。ゴミを拾いながら、家族や職場仲間と楽しい時間を過ごすことができました。



白十字会大忘年会

新しく出来た白十字会会歌「こころ」が富永理事長、井手芳彦先生、森美美先生、久雅代さんによる混成四部合唱で歌われ、その後出席者全員で斉唱しました。



新規医療機器紹介

放射線技術部(第1MRI室)



● 1.5テスラMRI装置 1台

Ingenia 1.5T: フィリップスエレクトロニクスジャパン

● 造影剤注入装置 1台

ソニックショット7: 根本杏林堂

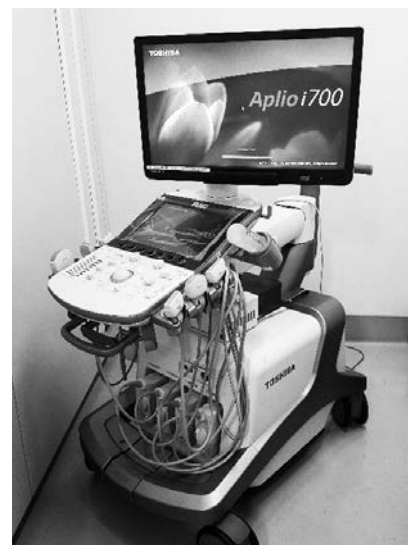
1.5テスラMRI装置を更新しました。オランダフィリップス社製の最新装置です。検査時間の短縮はわずかですが、画質が飛躍的に向上し詳細な部分まで描出できるようになったため、より診断能の高い画像を提供できるようになりました。

MRI装置は、磁気と電波を使って画像を作ります。この使用する磁気や電波は無害で、身体に感じるものではありません。またX線による被ばくは全くなく、患者さんの身体の位置を変えなくても、あらゆる角度から身体の中の様子を観察することができます。

臨床検査技術部

● 超音波診断装置 Aplio i700

東芝メディカルシステムズより2016年5月に販売開始された最新の超音波診断装置を導入しました。体への負担が少ない超音波検査装置は臨床現場から様々な検査へのニーズが高まっており、本装置は臨床現場のニーズに的確に対応できる高性能装置です。浅部から深部まで細く均一な超音波ビームを高密度で送受信できることで高精細な画像の描出が可能となり、微細な病変の検出や検査効率の向上に貢献します。さらに微細な血流を描出する東芝社独自の技術により、新たな診断領域への適応が期待されます。



● 全自動免疫測定装置 HISCL-800

従来の免疫測定装置よりも小型で省スペースながら高機能の特徴を持つHISCL800(Sysmex社製)を導入しました。年々依頼数が増加していたPIVK A-II及び近年注目されている肝線維マーカーM2BPGiやアトピー性皮膚炎マーカーTARCの3項目を測定しています。今まで検査結果報告に数日要していた検査が採血後1時間以内に結果を提供できるようになり、日常診療に大きく貢献します。今後販売される新しい項目にも柔軟に対応できます。



患者会・家族会活動実績

日本糖尿病協会長崎支部「佐世保みなと会」

佐世保みなと会とは、昭和43年、日本糖尿病協会の長崎県支部佐世保分会として、糖尿病患者を中心に佐世保中央病院にて発足された患者会です。糖尿病に関する講習会、運動療法の実技・実習に関する講習会、専門誌の配布など様々なことを計画・実施しています。

活動内容

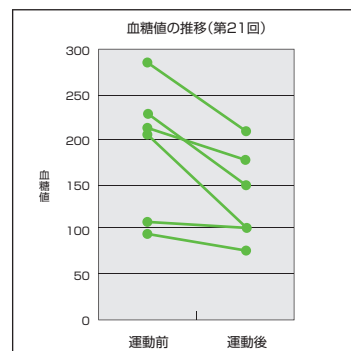
①総会の開催

年に1回、11月に開催しています。医師、看護師、理学療法士、栄養士、検査技師などの参加のもと、総会、講演会、懇親会、グループワークなどを開催しています。



②運動療法講座「青空いきいきウォーキング」の開催

毎年、5月と10月に理学療法士を中心に開催しています。看護師や医師も同行しながら、ウォーキングや予防体操などを行っています。ただ歩くだけでなく、毎回、糖尿病に関するショートレクチャーを用意しています。参加者は、運動の前後で血圧・血糖・体重などの測定を行い、変化を一目で見ることができ、運動の効果が楽しみながらわかります。



過去に参加された方々の血糖値の推移です。このように運動によって血糖値が下がってます。



③1型糖尿病の会「1型サークル」の開催

日本では、糖尿病患者のうち95%以上が2型糖尿病ですが、この会は1型糖尿病の患者さんを対象とした会です。2011年4月より、講演会、懇親会などを開催しています。



④糖尿病のことがなんでもわかる月刊誌「さかえ」の配布

月刊誌「さかえ」は、糖尿病療養の最新情報、食事療法を活用したクッキングレシピ、療養生活のちょっとしたコツ、患者さんの体験談、医療スタッフの声などが掲載された糖尿病専門雑誌です。入会すると毎月読むことができます。糖尿病や予防に関する最新の正しい知識を取得することができます。

リウマチ友の会

2000年7月8日、リウマチ全般に関して活発かつ自由な討論が出来る場をつくり、病気に関する理解を深めることを目的に佐世保中央病院に『リウマチ友の会』が発足しました。患者さんが中心に運営する会で、現在の会員数は70名程です。

患者同士が親睦を図り、様々な医療情報や生活の工夫を交換し、交流できるように、そして医療従事者と患者さんが一体となりチームワークを組んで治療・ケアを行っていきける礎となるように活動しています。



医師講話

活動内容

①リウマチ友の会開催

※過去開催された題目、内容(一部)

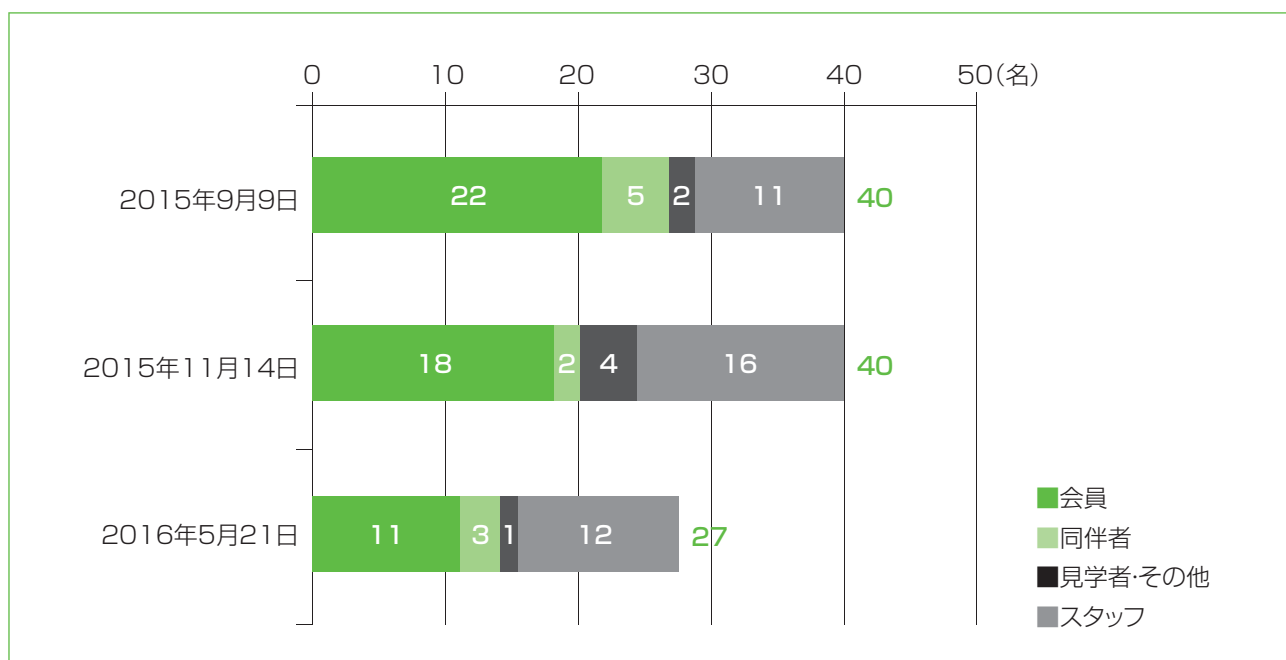
■医師講話

- ・「関節リウマチの最新の治療」
- ・「リウマチ治療30年」
- ・「関節リウマチと骨粗鬆症」

●2015年度/2016年度 リウマチ友の会参加人数

(名)

	2015年5月9日	2015年11月14日	2016年5月21日
会 員	22	18	11
同伴者	5	2	3
見学者・その他	2	4	1
スタッフ	11	16	12
合 計	40	40	27



メモリー・クラスルーム(認知症健康教室)

認知症に対する理解を深めることで、適切な介護方法を理解し、行動心理症状(BPSD)の予防や介護負担を軽くすることができます。当センター受診の予約をされて待機中のご家族や、診察検査が終わり確定診断を受けられたご家族を対象に、認知症の健康教室を毎月1回開催しています。また、より具体的な対応方法を学んでいただくために中級編を開催しています。

健康教室内容

初級編(偶数月)

- ①認知症ってどういう病気?
- ②治療薬のお話
- ③適切な介護について、
患者さんの心の中を知る
- ④介護体験談(『認知症の人と家族の会』より)
- ⑤介護保険認定の申請方法、
介護施設の上手な利用法について

中級編(奇数月)

- ①アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、
前頭側頭葉変性症のBPSDの対応方法
(センター職員の寸劇、ドリームケア各所長の解説)
- ②患者・家族と職員によるグループディスカッション
- ③介護施設の上手な利用方法
(白十字会ケアプランセンター)

開催実績

	参加 家族数	D C 利用家族	合計 家族数	人数	関連 職員人数	総参加 人数
2016年 4月(初級編)	4	1	5	8		8
2016年 5月(中級編)	3		3	4	1	5
2016年 6月(初級編)	18	1	19	38	1	39
2016年 7月(中級編)	15	1	16	28	4	32
2016年 8月(初級編)	14		14	22		22
2016年 9月(中級編)	12		12	17		17
2016年 10月(初級編)	18		18	26	1	27
2016年 11月(中級編)	19		19	27	2	29
2016年 12月(初級編)	8		8	12	1	13
2017年 1月(中級編)	8		8	15	1	16
2017年 2月(初級編)	18		18	36	2	38
2017年 3月(中級編)	16		16	31	2	33
合計	153	3	156	264	15	279

※関連職員:長寿社会課職員、市内地域包括支援センター職員、DC職員

緩和ケアチーム

平成27年1月、内閣府政府広報室「がん対策に関する世論調査」で、緩和ケアを開始する時期は「がんと診断された、治療開始された時から」と答えた人が79.7%で、「緩和ケアはがん治療の一環」と広く認識されています。

当院では、「多職種カンファレンス」で「痛みや辛さを和らげ、自分らしく堂々と生きるサポート」を行っています。

1.医療者向け教育研修(多職種)

- (1)【緩和ケア医師研修会】
- (2)【看取りケア】
- (3)【緩和医療研究会・ランチョンミーティング(第2・4火曜日)】



- 緩和ケアチームカンファレンス(火曜日)
- 緩和ケア相談「緩和ケア相談室」(月～金)
- ピュアサポート：がんサロン絆
- 緩和ケア啓発街頭キャンペーン
- 遺族会(家族会)

資格取得奨励支援制度

職員が自らの職能の向上をめざし学習・研鑽する意欲を奨励、支援、助成し、医療・介護の質の向上に寄与することを目的としています。資格は職務の質の向上に寄与する程度や難易度によって、「奨励資格」、「支援資格」、「評価資格」の3つに分類されています。ここでは、制度を利用し「支援資格」に合格した実績を紹介します。

部門	資格名	合格者数(名)
看護部	AHA ACLSプロバイダー	3
	AHA BLSインストラクター	3
	栄養サポートチーム専門療法士	1
	認知症ケア専門士	1
	認定看護管理者教育課程(セカンドレベル研修)	2
	認定看護管理者教育課程(ファーストレベル研修)	3
薬剤部	感染制御認定薬剤師	11
	日本糖尿病療養指導士	1
放射線技術部	胃がんX線検診読影部門B資格	1
	救急撮影認定技師	1
	放射線機器管理士	2
	放射線取扱主任1種	1
臨床検査技術部	二級臨床検査士(微生物学、病理学、臨床化学、血液学、血清学、循環生理学、神経生理学、呼吸生理学)	3
リハビリテーション部	AMPS	1
	認定作業療法士	1
認知症疾患医療センター	認知症予防専門士	1
合計		26

提案制度

●提案制度について

当院では、業務の改善や改革などに寄与する職員の提案を奨励し、その提案を積極的に採用することにより、組織に対する参加意識を高め、職場風土の活性化を促進するために提案制度が設けられています。

提案事項は業務に関連した創意と工夫による内容とし、全ての職員が提案する資格を有しています。また、担当職務範囲を超えたものでもよく、共同提案も可能となっています。

提案事項は提案委員会が受付窓口となっており、定期的に審議し採否を決定しています。採用された提案については、提案規程に基づき表彰を行っています。

●直近5年間の提案件数

(提案制度の1期は11月～翌年10月までです)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
提案件数	39件	35件	32件	40件	33件
(うち採用)	21件	27件	18件	26件	28件
(うち不採用)	10件	7件	7件	6件	3件
(保留)	2件	1件	1件	3件	1件
(差し戻し)	1件	—	3件	2件	1件
(その他)	5件	—	3件	3件	—

●直近5年間の表彰実績

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
施設表彰金賞	1名	1名	該当なし	1名	3名
施設表彰銀賞	1名	1名	2名	1名	3名
施設表彰銅賞	2名	3名	3名	6名	4名

※施設表彰金賞、銀賞は優秀な提案に対して送られる表彰となっており、銅賞は提案制度年間ポイント上位者表彰となっています。

新聞記事などの紹介

掲載月	内 容	掲載メディア
4月	佐世保のフラジャイル	KTN
4月	独自開発でIT化 システム開発室	雑誌「新医療」
5月	起立性調整障害に対する漢方薬の使い方 (小児科 犬塚幹医師)	医学雑誌 Science of Kampo Medicine
7月	高齢者交通安全キャンペーン	NHK、KTN、TVS、NIB
8月	病院こども探検隊	NHK、TVS、長崎新聞、西日本新聞
9月	大規模災害訓練	TVS
11月	エマルゴトレーニング	長崎新聞
11月	がん放射線治療について (放射線科 山崎拓也医師)	長崎新聞
12月	冬季感染予防啓発	TVS
1月	仕事を紹介する企画「職場へGO」 管理栄養士	TVS
2月	心臓病 市民公開講座	TVS

学会発表実績

部署	氏名	学会名	会期	演題名
脳神経外科	藤原 史明	第41回 日本脳卒中学会総会	4月14～ 16日	当院でのbranch atheromatous disease(BAD)の臨床経過
小児科	山田 克彦	第198回 日本小児科学会 長崎地方会	4月17日	抗原食物除去中の食物アレルギー小児の 栄養指標と体格指数
	犬塚 幹			小児心身症外来開設から10年間のあゆみ
リウマチ・ 膠原病科	江口 勝美	第60回 日本リウマチ学会総会・ 学術集会	4月21～ 23日	当院におけるRA患者の HBV再活性化に関する検討
	植木 幸孝			高齢者のリウマチ性疾患
臨床検査 技術部	片瀧 直	第105回 日本病理学会総会	5月12～ 14日	当院病理部におけるISO15189の 運用について(取得～更新審査～現在)
臨床工学部	関谷 光彬	第26回 日本臨床工学会	5月14～ 15日	当院のハイパーサーミアについて
	中嶋喜代子			
糖尿病内科	松本 一成	第59回 日本糖尿病学会 年次学術集会	5月19～ 21日	糖尿病教育入院で血圧自己測定を 体験することの有用性について
	森 芙美			重症低血糖にて当院へ救急搬送された 症例の背景因子の検討
	重野里代子			当院における糖尿病と肺炎に関する調査報告
3東	松山 典子			糖尿病教育入院患者への 「タイプ分け」の導入～病棟の取り組み～
栄養管理部	貴島左知子			1日7回の血糖測定と食事写真を併用した 栄養指導の検証
病理診断科	米満 伸久	第32回 長崎県 診療情報管理研究会	5月21日	医療事故調査制度について
心臓血管外科	中路 俊	第44回 日本血管 外科学会学術総会	5月25～ 27日	EVAR 後 type2 endoleak に対して経動脈アブレーションとCTが 卜 下経皮的アブレーションそれぞれで施行した塞栓術の治療経験
リウマチ・ 膠原病科	荒牧 俊幸	第313回 日本内科学会 九州地方会	5月28日	診断に肝生検が有用であった 好酸球性肉芽腫性多発血管炎の1例
研修医	平尾 宣子	第81回 長崎大学 第二内科学会	5月28日	淡水溺水に伴う急性呼吸窮迫症候群(ARDS) に肺サーファクタント補充療法が奏功した1例
臨床検査 技術部	片瀧 直	第57回 日本臨床 細胞学会総会(春期大会)	5月28～ 29日	骨、軟骨および横紋筋への分化を示した いわゆる乳腺癌肉腫の1例
小児科	犬塚 幹	第58回 日本小児 神経学会学術集会	6月3～ 5日	若年性ミオクロニーてんかんの治療 および患者背景についての検討
ICU・透析室	松本 英里	第12回 日本クリニティカルケア 看護学会学術集会	6月4～ 5日	譫妄予防に関する 薬剤の効果的な投与期間の検討
	山浦 初紀			
ICU・透析室	宮岡真由美	第61回 日本透析 医学会学術集会 総会	6月9～ 12日	当院透析室におけるPNS導入後の評価
	久保田奈美			
臨床検査 技術部	片瀧 直	第31回 長崎県臨床細胞 学会総会および学術集会	6月25～ 26日	当院における婦人科細胞診(LBC)
4西	山本めぐみ	第25回 日本心血管 インターベンション 治療学会	7月7～ 9日	心不全患者の再入院率の実態及び、 その要因調査 ～退院指導の現状を知り、 これからの課題を考える～
	川尻 奈那			

3南	久保田 薫	第47回 日本看護学会 急性期看護学術集会	7月15~ 16日	肩腱板修復術後の退院指導統の 統一に向けた看護師の実態調査
4南	岩崎 真彩			ICUの音に関する調査と取り組み ~より良い環境を目指して~
手術室・中材	谷上 千明			手術中災害発生時の対応の習得に向けて ~災害マニュアルとDVDによる勉強会の効果~
糖尿病内科	松本 一成	第11回 日本臨床コーチング 研究会総会 学術集会	7月16日	院内でコーチングを使ってみたら…
心臓血管外科	谷口真一郎	第49回 日本胸部外科学会 九州地方会総会	7月21~ 22日	三腔解離を呈した慢性B型大動脈解離の TEVARの1例
研修医	平尾 宜子	第77回 日本呼吸器学会日本結核病学会 日本パド・以/内芽腫性疾患学会 九州支部 夏季学術講演会	7月22~ 23日	淡水溺水に伴う急性呼吸窮迫症候群(ARDS) に肺サーファクタント補充療法が奏功した1例
看護部	横山 藤美	第47回 日本看護学会 在宅看護学術集会	7月22~ 23日	在宅療養支援診療所との連携を 強化するための取り組み
小児科	山田 克彦	第199回 日本小児科 学会長崎地方会	7月24日	成人用食行動質問表を用いた 肥満小児の食行動異常への介入
健診科	永尾奈津美	第57回 日本人間ドック学会 学術大会	7月28~ 29日	職員の推定塩分摂取量の現状と 生活習慣病との関連の検討
健診支援課	深井 絵美			当施設における保健指導の満足度調査
放射線科	平尾 幸一	第29回 九州・山口地区 ハイパーサーミア研究会	7月30日	温熱化学放射線療法により 5年生存中のstageI肺癌の1例
循環器内科	吉村 聡志	第32回 日本心血管インターベンション 治療学会 九州沖縄地方会	8月19~ 20日	CABG 当日の深夜に突然の心停止を来し、緊急冠動脈造影 により multi vessel spasm の関与が疑われた症例
臨床工学部	上原かをる	第9回 長崎県臨床工学会		当院のバスキュラーアクセス管理の現状
	関谷 光彬			ハイパーサーミアにおける 臨床工学技士の現状と課題
	川中 温美			透析用患者監視装置内部に 錆が発生した事例
リハビリ テーション部	浦 聖二	再生医療とリハビリテーション 研究会 第1回 長崎研究会	8月24日	MCA領域の脳梗塞により重度片麻痺を 呈した症例に対するHALの試み
脳神経外科	堀尾 欣伸	第35回 The Mt. Fuji Workshop	8月27日	脳血管外科を目指す後期研修医の立場から
健康管理部	今里 孝宏	第65回 日本医学検査学会	9月 3~ 4日	「九州糖尿病臨床検査研究会」 10年間の活動を振り返って
臨床検査 技術部	安東摩利子			実践事例から学ぶチーム医療-1
リウマチ・ 膠原病科	江口 勝美	第52回 九州リウマチ学会	9月 3~ 4日	当センター RA 患者における HBV 既往感染者の再活性化に関する検討
	荒牧 俊幸			T2T達成のための地域連携ネットワークを 用いた関節リウマチ診療
	辻 創介			関節痛を主訴に来院し 潰瘍性大腸炎の発見に至った一例
地域連携課	碓 めぐみ	第15回 長崎緩和ケアセミナー	9月10日	がん患者の自分らしく生きる選択
臨床工学部	中山 絵美	第24回 長崎救急医学会	9月10日	当直業務を開始して
医療安全 管理部	朝倉加代子	日本医療マネジメント学会 第15回 九州山口連合大会	9月16~ 17日	部門代表専任者の安全活動サポート
臨床検査 技術部	安東摩利子	第9回 生物化学部門研修会	9月17~ 18日	検査説明への取り組み
薬剤部	曾根本恵美	第26回 日本医療薬学会年会	9月17~ 19日	膠原病患者を対象とした低用量 シクロスポリンの母集団薬物動態解析
	岩村 直矢			MRSA肺炎患者における バンコマイシン初期投与設計の有用性
認知症疾患 医療センター	井手 芳彦	第6回 日本認知症予防学会 学術集会	9月23~ 25日	レビー小体型認知症(DLB)に特化した デイサービス作りに向けて~多職種協働での取り組み~
	日和田正俊			急性期病院におけるBPSD対策(第2報)~認知症疾患 医療セクターと認知症専門看護師との活動報告を踏まえて~

リウマチ・ 膠原病科	荒牧 俊幸	日本背椎関節炎学会 第26回学術集会	9月24日	当県下多施設における 背椎関節炎の診断と治療の状況
3西	川口 倫慧	第47回 日本看護学会 看護管理学術集会	9月27～ 28日	看護師のリフレッシュ効果の検証 ～アロマセラピーを用いて～
5西	長田 恭子			速乾性手指衛生の意識調査と 啓発活動の評価
4南	宮田 茉莉			看護記録の充実 ～日勤時記録時間導入を試みて～
脳神経外科	保田 宗紀	日本脳神経外科学会 第75回学術総会	9月29日 ～ 10月1日	椎骨動脈解離による椎骨動脈閉塞後に みられた対側de novo VA dissectionの1例
	堀尾 欣伸			茎状突起過長症に伴う 頸部内頸動脈解離の1例
4南	木下みのり	第43回 日本脳神経看護研究会	9月30日	急性期病院脳神経外科病棟での離床への取り組み ～病棟デイサービスを通しての今後の課題～
3西	鴨川千香子	第32回 九州ストーマ リハビリテーション研究会	10月1日	セルフケア確立困難な患者へのストーマ支援
臨床検査 技術部	坂口麻亜子	日臨技九州支部 医学検査学会	10月8～ 9日	検体採取における病棟への介入
	丸田 千春			生理学的検査における ISO15189認定取得までの経過および効果
	丸田 秀夫			施設及び長崎県臨床検査技師会における 人材育成について
	久住呂由香			当院採血コーナーにおける 待ち時間の現状と課題
糖尿病内科	松本 一成		10月14 ～15日	糖尿病地域連携パス患者における 糖尿病網膜症の頻度と関連因子
	森 芙美			糖尿病地域連携患者における糖尿病性腎症 と危険因子の保有率の関連
	重野里代子			当院における糖尿病と肺炎に関する調査
	徳満 純一			釘による刺創から右足蜂窩織炎を繰り返す 治療に難渋した2型糖尿病患者の一例
糖尿病・リウマチ 膠原病センター	加藤 陽子		10月14 ～15日	糖尿病教育入院前の性格分類 タイプ別質問紙調査を行って
	城山千鶴子			糖尿病透析予防指導後の追跡調査と 今後の課題(第2報)
	佐藤 文子			テーマを設けた「ワールドカフェ」形式を 用いた1型糖尿病患者会の報告(第3報)
	静間 靖代			高度な足病変を有する糖尿病患者が行動変容に 至った1例～当院での7年間の足跡を追って～
3東	牧山 国子	第54回 日本糖尿病学会 九州地方会	10月14 ～15日	過去3年間の糖尿病教育入院患者の現状
栄養管理部	貴島左知子		10月14 ～15日	糖尿病患者の食事・運動習慣と 体重、血糖コントロールの関連
	大野 彩香			主食計量から分かった患者の特徴
	福田 詩文			食事写真から算出した 管理栄養士間の栄養量の差異
リハビリ テーション部	田中亜優美		10月14 ～15日	糖尿病性腎症が自己効力感と 運動機能におよぼす影響
	廣田 奈央			糖尿病教育入院患者における起立テストと 2ステップテスト及びロコモ25との関連について
	室島 央典			2型糖尿病患者で肥満の有無が、 運動療法に与える効果について
薬剤部	紙谷友里子			地域連携バス導入患者の 薬物療法の動向調査
臨床検査 技術部	影平 宏美			当院糖尿病チーム医療における 臨床検査技師の関わり
	濱 晶乃			尿中アルブミン定性検査の有用性について

リハビリ テーション部	神崎 香織	第22回 長崎県呼吸ケア研究会	10月15日	当院における 呼吸療法サポートチームの取り組み
脳神経外科	堀尾 欣伸	第124回 日本脳神経 外科学会九州支部会	10月22日	脳内出血で発症した大脳鎌血管肉腫の一例
リウマチ・ 膠原病科	植木 幸孝	第31回 日本臨床リウマチ学会	10月29 ～30日	地域連携によるチーム医療
	荒牧 俊幸			後期高齢発症関節リウマチの 患者背景との治療選択
	辻 創介			当院におけるアバタセプトの使用状況
糖尿病・リウマチ 膠原病センター	野口早由里			訪問看護チームと連携し外来にてBIO在宅 自己注射が確立できた高齢RA患者の報告
外来・救急外来 看護課	大久保浩子	第21回 長崎県国保地域医療学会	11月5日	患者参画の療養指導の実践～虚血性 心疾患手帳、健康管理ノートを用いた指導～
4西	小田 美妃	第47回 日本看護学会 慢性期看護学術集会	11月10 ～11日	心不全患者における 再入院率の実態とその要因
外来・救急外来 看護課	西原 美子			腎臓内科における療養指導の導入について
3東	井ノ上澄子			iPadを使用した糖尿病個別指導内容の見直し ～マニュアル改訂に組み込んで～
リハビリ テーション部	久田 勇輔	第6回 日本ロボットリハビリ テーションケア研究大会	11月12 ～13日	視床出血を発症し、強い運動失調、重度感覚障害および高次 脳機能障害を呈した患者に対するロボットスーツHALの使用経験
リハビリ テーション部	川上 章子	九州理学療法士・作業療法士 合同学会 2016 in 鹿児島	11月12 ～13日	2型糖尿病患者における 2ステップテストの有用性について
臨床検査 技術部	片淵 直	第55回 日本臨床 細胞学会秋期大会	11月18 ～19日	食道EUS-FNAによる細胞診が診断に 有用であった神経内分泌細胞癌の一例
研修医	大和 慎治	日本内科学会 第315回九州地方会	11月20日	PTPシート誤飲により小腸穿孔を来した1例
薬剤部	岩村 直矢	第64回 日本化学療法 学会西日本支部総会	11月24 ～26日	バンコマイシンの治療効果とarea under the tough level (AUTL)との関連性
研修医	平尾 宜子	第108回 日本消化器病 学会九州支部例会	11月25 ～26日	集学的治療が奏功した 出血性直腸静脈瘤の一例
心臓血管外科	谷口真一郎	第29回 日本外科 感染症学会総会学術集会	11月30～ 12月1日	心臓大血管手術における オラネキシジングルコン酸液の使用経験
認知症疾患 医療センター	川口さゆり	第35回 日本認知症 学会学術集会	12月1～ 3日	認知症家族への早期教育 《認知症BPSD予防作戦「メモリークラスルーム」》
消化器内科	加茂 泰広	第8回 長崎大学 消化器内科研究会	12月10日	経皮経肝的側副血行路塞栓術が奏功した 出血性直腸静脈瘤の一例
臨床工学部	中嶋喜代子	第49回 九州人工透析研究会総会	12月11日	シャント管理ワーキンググループの活動報告 ～第四報～
栄養管理部	貴島左知子	第20回 日本病態栄養 学会年次学術集会	1月13～ 15日	食事写真から算出した栄養量、 管理栄養士による見積りの差
循環器内科	吉村 聡志	日本心臓血管インターベンション治療学会 九州・沖縄支部 第24回九州・沖縄地方会 /第1回冬季症例検討会	1月14日	中年女性の急性冠症候群に対して 保存的加療を選択した症例
リハビリ テーション部	宅島 真人	長崎県再生医療研究会	1月19日	左視床出血の症例に対し単脚HAL使用にて 股関節可動範囲改善に繋がった経過
臨床検査 技術部	伊藤 将大	第28回 日本臨床微生物学会 総会・学術集会	1月20～ 22日	微生物検査担当検査技師による 検体採取への取り組み
臨床検査 技術部	林 真美			原発性クリプトコッカス症が疑われた1症例
心臓血管外科	中路 俊	第31回 心臓血管外科 ウインターセミナー学術集会	1月25～ 27日	CABG後に冠動脈攣縮をきたした一例
医療安全 管理部	朝倉加代子	日本医療マネジメント学会 第17回	2月18日	事例再発防止と安全教育
リハビリ テーション部	兼石 匠	長崎支部学術集会		当院リハビリテーション部における 感染対策への取り組み

リハビリ テーション部	岡 亮平	第28回 長崎県理学療法学会 in島原	2月18～ 19日	THA後に残存した 姿勢異常に対するアプローチ
	富永 貴明			回転性眩暈を呈した小脳出血患者へのアプローチ ～離床時間確保に難渋した一症例～
	中島 拓哉			関節可動域の改善を認めた 肩関節拘縮症例の経験
脳神経外科	河野 大	第125回 日本脳神経 外科学会九州支部	3月11日	下垂体腺腫術後に生じたトルコ鞍内血腫 (鞍底硬膜下血腫)の一例
リウマチ・ 膠原病科	江口 勝美	第53回 九州リウマチ学会	3月11～ 12日	関節リウマチ患者におけるHBV既往感染者 からの再活性化18症例の検討
	荒牧 俊幸			長崎県下における脊椎関節炎の診断の状況
	辻 創介			トファシニブにて改善の得られた 難治性血管炎性皮膚潰瘍の一例 肺高血圧症を発症した抗セントロメア 抗体陽性強皮症の1例 ACPAの値によるアバタセプトの 有効性の検討
健康管理部	田口久美子	第18回 九州予防 医学研究回学会	3月11～ 12日	大腸がん健診の精密検査受診率向上に対する 取り組みについて～アンケートの実施～
脳神経外科	保田 宗紀	第42回 日本脳卒中学会 学会集	3月16～ 19日	椎骨動脈解離による椎骨動脈閉塞後にみられた 対側de novo VA dissectionの1例
	堀尾 欣伸			頸部回旋により鎖骨下動脈盗血症候群を 呈した高度鎖骨下動脈狭窄症の1例
	高木 勇人			急性期延髄梗塞において優位側椎骨動脈 閉塞が呼吸停止に与える影響
呼吸器内科	小林 奨	第1回 日本医真菌学会 九州中四国支部会	3月18日	間質性肺炎の維持療法中に発症したAspergillus terreusによる 慢性進行性肺アスペルギル菌症(CPPA)に対しmicafunginが著効した1例
リハビリ テーション部	田代 千奈	第24回 長崎県作業療法学会	3月18～ 19日	自主訓練が定着し、 上肢・認知面が改善した症例